

第219回複合材料部門委員会・議事録(案)

作成者：高坂達郎，日下貴之

開催日時：2008年11月21日(金)，11:00～18:00

開催場所：(株)島津製作所，本社・三条工場

出席者：北條正樹，井上久弘，岩本正治，黄木景二，大窪和也，大村 勝，岡本陽介，小沢喜仁，日下貴之，草野英昭，倉敷哲生，高坂達郎，合田公一，古挽 明，櫻井昭男，武田展雄，西薮和明，琵琶志朗，藤井善通，細井厚志，和田明浩，他25名，(計46名)

資料1：第219回複合材料部門委員会開催案内

資料2：新公益法人制度対応WG配付資料

資料3：幹事会，ビジネスミーティング(臨時総会)議題案

資料4：公益法人化に関する意見(電子メール)

資料5：第58期通常総会・学術講演会併設公開部門委員会開催案

資料6：JCOM-38講演募集会告

【臨時総会】

1. 公益法人化への対応について(北條委員長，資料2，資料4)

学会本部より公益法人化に向けた部門委員会への対応依頼があり，その要旨について北條委員長より説明があった。また，関連する意見交換を行った。要点は以下のとおり。

- ・ 上記対応のため，今年度の事業報告および次年度の事業計画については，2009年2月までに学会本部に報告する必要がある。
- ・ 公益法人化への具体的な対応については，現時点では学会本部の指針が不明確であり，部門委員会としては柔軟かつ迅速な対応が必要である。
- ・ 重要事項を主として総会で審議する現状の体制は，上記対応を行うのに必ずしも適しているとはいえず，部門委員会の意思決定プロセスを改正することも視野に入れるべきである。
- ・ 部門委員会の意思決定プロセスを改正(柔軟化，迅速化)するためには，部門委員会規定の改正が必要である。

2. 部門委員会規定の改正について(北條委員長，資料3)

部門委員会規定の改正について，北條委員長より以下の方針が提案された。また，関連する意見交換を行った(具体的な規定変更案は提示されず)。

- ・ 部門委員会の目的が複合材料に関する研究情報の交流と当該分野の活性化を図ることであるという原点に立ち返り，規程による過度の拘束がかからぬよう，柔軟な運営を進めていきたい。この点に関しては，他の部門委員会も同様の方針であると思われ，特に大きな問題も生じていないことにも着目すべきである。
- ・ 上記の観点から，部門委員会の運営上必要な事項の審議や議決を，年数回開催される定例部門委員会の中で行うほか，重要性や緊急性を踏まえた上で，電子メールによる審議も併用したい。
- ・ ついては，定例部門委員会の欠席委員への対応策として，定例部門委員会での審議内容の電子メール等による事前通知や意見聴取を行うとともに，定例部門委員会終了後の事後通知や意見聴取を行い，反対意見等が一定の割合を超えた場合には，議決内容を保留するなどの措置を行うこととしたい。
- ・ 一方，年度末あるいは年度当初の定例部門委員会(従来総会に相当)で，旧年度の事業報告と次年度の事業計画を議論する機会を持ち，年度ごとのけじめをつけることとしたい。
- ・ 個人会員と法人会員の扱いについては，本部の公益法人化の動向を見据えた上で，対応することとしたい(当面はペンディング)。

上記の方針に対して，以下のような議論があった。

- ・ 公益法人化のメリットとデメリットが明確化されていないのでは？
→ メリットは税制上の優遇措置等。デメリットは部門委員と非部門委員の差別化が薄れること(部門委員でなくても情報収集が可能)。税制面でのメリットについては学会本部に確認する。

- ・ 6月に開催した臨時総会で議論した規程改正はその後どうなっているのか？
→ 規程改正案を修正中.
- ・ 公益法人化への対応や規程改正については、臨時総会ではなく、現行の規程に則って総会で議論すべきでは？
→ 来年度の事業計画の提出締切が2月であることも勘案すると、1月中に総会を開く必要があるが、日程的に困難である.

以上の議論を踏まえて、規程改正案の作成作業を進めることが承認された。また、作成された規程改正案については、電子メール等で周知するとともに意見交換を行い、最終的には3月の総会(JCOM会期中)にて決定する方針が進めることが承認された。なお、2008年度の事業報告と2009年度の事業計画については、2月中に本部に仮提出し、3月の総会にて事後承認を得る方向で進めることが承認された。

3. 第58期通常総会・学術講演会併設行事について(黄木委員, 資料5)
第58期通常総会・学術講演会併設行事として準備を進めている公開部門委員会(日本複合材料学会西部支部と共催)について、黄木委員から進捗状況の報告があった。
期日: 2009年5月22日(金), 13:00-17:00
会場: 東レ(株), 愛媛工場
内容: 講演会および見学会(定員50名)
講演は初公開の内容も多数含まれる魅力的なものであり、多数の参加をお願いしたい。
4. JCOM-38 準備状況について(櫻井実行委員長, 資料6)
櫻井実行委員長からJCOM-38の準備状況について報告があった(詳細は材料10月号を参照)。
申込締切 2008年12月8日(月)
講演種別 A:30分, B:15分(修士学生, 学部学生のみ), ポスター
講演論文集 USBメモリーにて配布(これにより参加登録料を8000円に値下げ)
5. IWGC-5 実施報告について(小沢委員)
小沢委員からIWGC-5の実施状況について報告があった。アメリカ, ドイツ, インドネシア, 韓国の4カ国からの参加者も含めて, 60名の参加があった(講演件数34件)。次回は韓国にて開催予定。詳細については, 電子メールにて後日配信することとなった。
6. ACCM-6 実施報告について(大窪委員)
大窪委員(上野谷委員欠席のため代行)からACCM-6の実施状況について報告があった。上野谷委員が欠席のため, 概略のみ説明。会計の面では大きな過不足は生じなかった。詳細については, 電子メールにて後日配信することとなった。
7. 複合材料特集号の進捗状況について(黄木委員)
黄木委員から複合材料特集号の進捗状況について報告があった。順調に進行中とのこと。
8. 入退会等について(日下委員)
日下幹事から以下の入退会等に関する報告があった。
入会: 上田政人(日本大学・理工学部・機械工学科)→承認
退会: 宗宮 詮
所属変更: 中津川洋史(エヌエスジーヴェトロテックス→オーシーヴィー津)

【研究討論会・施設見学会】

以下の講演会および見学会を行った(敬称略)。

講演1: 「高分解能分布型光ファイバーセンサシステムを用いた複合材構造の構造健全性評価」

東京大学大学院・新領域創成科学研究科 武田展雄

講演2: 「複雑形状を有する複合材構造の非破壊検査技術」

宇宙航空研究開発機構・研究開発本部 青木雄一郎

講演3: 「非接触超音波探傷検査による複合材構造のはく離評価」

IHI エアロスペース・品質保証部 佐藤明良

講演4: 「渦電流探傷試験の CFRP 損傷検出への適用」

日本大学・生産工学部 小山 潔

見学会: 島津製作所テクニカルセンター見学(材料試験機, X線装置等)

以上